

令和2年度

事業報告書

公益財団法人福島県保健衛生協会

## 令和2年度 事業報告書

### (概況)

令和2年度の事業を概括すると、未受診者への受診勧奨の強化対策に取り組んだものの、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく響いた結果となった。年度前半の検診は取りやめざるを得ず、後半を中心に再編成したものの、健診日程の圧縮による受診機会の減少や感染拡大が収まらないことへの不安から受診控えが加速し、また高齢化の進行に伴う受診者数の減少も相まって、受診者数が一段と減少したことで減収となった。

まず、健診検査事業収入の大宗を占める地域健診では、株式会社キャンサーズキャン社を活用した未受診者への受診勧奨対策で、重点的に受診勧奨通知を発出した地区の新規受診割合が顕著に増加するなど、効果が見られた部分もあったが、4市2村が実施を取りやめた影響が大きく、減収となった。

一方で、推定食塩摂取量検査は、新規導入の市町村があり増収となっている。また、胃がんリスク検査（ABCリスク検査）は、一次予防として導入しやすい価格帯に料金を改定したことに加え、受診者本人の希望で項目が追加できるカスタマイズ検診としたこと等が奏功し、受診者数が増加に転じた。

なお、健診の事前準備から実施並びに結果通知に至るまでの一連の業務を受託する運営受託事業は、国見町及び西郷村から新たに受託したものの、総合健診を実施しなかった市町村の影響で、前年度同数に留まった。

次に、総合健診センター事業では、健康診断事業において他の医療機関における新型コロナウイルス感染症のクラスター発生に伴い、受診不可となった受診者を積極的に受け入れたことにより、乳がん検診と子宮がん検診及び特定健診で受診者数が増加した。

また、二次精検事業でも検診実施企業等への外来診療（二次検査・精密検査）の勧奨を行ったところ受診者数が増加した。しかし人間ドック事業及び予防接種事業での受診者数の減少が大きく影響し全体では減収となった。

さらに、理化学分析事業では、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、検査の実施が困難となった地区があったこと、水質検査における大口顧客を受託できなかったこと、顧客の業績悪化による閉業又は事業縮小、学校給食提供数の減少の影響等により、検査依頼数が減少したことで減収となった。

### 1. 健（検）診・検査事業

地域住民のがん検診の受診者数は、66,697人減の242,457人（前年度比78.4%）となり、収入面では、129,957千円の減収となった。なお、職域を含めたがん検診全体の収入は、胃がん検診のデジタル撮影化及び子宮がん施設検診でのLBC検査法の導入に伴った検診料金の値上げを行ったことから、2,123千円の増収（前年度比100.1%）となった。

地域住民の各種がん検診の実施状況は、結核・肺がん検診は、31,001 人減(前年度比 73.0%)、76,064 千円の減収となった。胃がん検診は、13,220 人減(前年度比 64.2%)、6,956 千円の増収となった。乳がん検診は、1,878 人減(前年度比 89.3%)、17,750 千円の減収となった。大腸がん検診は、14,966 人減(前年度比 81.0%)、23,536 千円の減収となった。子宮がん検診は、車輛集団検診が 2,459 人減(前年度比 84.9%)、8,607 千円の減収、施設検診は 2,903 人減(前年度比 92.8%)、10,956 千円の減収となった。

市町村及び株式会社キャンサースキャン社と連携して行った未受診者への受診勧奨対策については、特に受診率が低迷を続けていたいわき市において、重点的に受診勧奨通知を発出した地区の新規受診(過去 3 年間未受診)割合が 18.0%から 46.9%と顕著に増加し、1 日当たりの平均受診人数も 5.2 人増加するなど、劇的な効果が見られた。しかし、受診者数の確保に向けて一定の効果がみられたものの、市町村国保加入者数減少の影響が大きく、健康診査全体では 31,735 人減(前年度比 70.7%)、209,074 千円の減収となった。

次に、慢性腎臓病(CKD)対策として自治体への導入を働きかけている尿中微量アルブミン検査及び推定食塩摂取量測定については、尿中微量アルブミン検査は、27 市町村で実施したものの、天栄村で検診を中止した影響や日程再編に伴う受診機会の減少等で 5,165 人減(前年度比 74.3%)、6,332 千円の減収となった。また、推定食塩摂取量測定は、伊達市、田村市、猪苗代町で新規に導入したことで、1,681 人増(前年度比 105.4%)、792 千円の増収となった。

眼底検査は、今年度より両眼撮影導入の働きかけを行った結果、職域健診では県職員、県警職員、県立学校職員での新規導入により 2,177 人増(前年度比 105.8%)、20,779 千円の増収となった。一方、地域健診では 19,943 人減(前年度比 76.6%)、20,912 千円の減収となった。

肝硬変に進展するおそれのある肝繊維化を早期発見するための肝がんリスク検査(FIB-4 index)は、積極的な渉外活動の結果、地域健診において 8 市町村 9,213 人、職域健診において 3 事業所 4,287 人が受診した。

慢性閉塞性肺疾患(COPD)の認知度の向上、検診及び禁煙の推進については、新型コロナウイルス感染防止対策の観点から実施を見送った。

以上、健(検)診事業全体では、前年度決算額 3,776,115 千円に対し 3,501,788 千円(前年度比 92.9%)となった。

## 1. 健(検)診・検査事業における地域住民健(検)診等の現状(実施人数)

単位:人

健診等の種別		年度	令和2年度 (実績)	令和元年度 (実績)	増減数	前年度比 (%)
特定健康診査	市町村国保		47,908	67,399	△ 19,491	71.1
	被扶養者		6,350	9,219	△ 2,869	68.9
後期高齢健康診査			22,013	31,162	△ 9,149	70.6
その他の健康診査			433	659	△ 226	65.7
結核・肺がん検診	胸部エックス線検査		78,976	109,317	△ 30,341	72.2
	喀痰細胞診検査		4,906	5,566	△ 660	88.1
胃がん検診			23,738	36,958	△ 13,220	64.2
大腸がん検診			63,622	78,588	△ 14,966	81.0
乳がん検診			15,735	17,613	△ 1,878	89.3
子宮がん検診	車輜検診		13,849	16,308	△ 2,459	84.9
	施設検診		41,631	44,534	△ 2,903	93.5
推定食塩摂取量測定			33,087	31,406	1,681	105.4
尿中微量アルブミン検査			14,949	20,114	△ 5,165	74.3
眼底検査	地域住民	片眼撮影	3,327	5,330	△ 2,003	62.4
		両眼撮影	62,134	80,074	△ 17,940	77.6
		計	65,461	85,404	△ 19,943	76.6
	職域	片眼撮影	11,748	37,079	△ 25,331	31.7
		両眼撮影	27,751	243	27,508	11,420.2
		計	39,499	37,322	2,177	105.8

## 1. 健(検)診・検査事業における地域住民健(検)診等の現状(収入)

単位:千円

健診等の種別		年度	令和2年度 (実績)	令和元年度 (実績)	増減額	前年度比 (%)
特定健康診査	市町村国保		306,611	431,577	△124,966	71.0
	被扶養者		40,640	58,988	△18,348	68.9
後期高齢健康診査			140,883	199,499	△58,616	70.6
その他の健康診査			13,726	20,870	△7,144	65.8
結核・肺がん検診	結核検診		82,675	113,003	△30,328	73.2
	肺がん検診		122,074	167,810	△45,736	72.7
胃がん検診			163,792	156,836	6,956	104.4
大腸がん検診			76,909	100,445	△23,536	76.6
乳がん検診			84,751	102,501	△17,750	82.7

子宮がん検診	車輛検診	48,471	57,078	△8,607	84.9	
	施設検診	293,094	304,050	△10,956	96.4	
推定食塩摂取量測定		19,852	19,060	792	104.2	
尿中微量アルブミン検査		17,938	24,270	△6,332	73.9	
眼底検査	地域住民	片眼撮影	1,836	2,942	△1,106	62.4
		両眼撮影	68,595	88,401	△19,806	77.5
		計	70,431	91,343	△20,912	77.1
	職域	片眼撮影	8,223	25,955	△17,732	31.7
		両眼撮影	38,851	340	38,511	11,426.8
		計	47,074	26,295	20,779	179.0

## 2. 総合健診センター事業

市民検診(福島市)は、早朝時間帯を利用して単独で胃がん検診を行うこととした他、胃がん検診の開始時期の1か月程度延期を踏まえ、胃がん検診を受診できなかった市民への勧奨を行ったものの、883件(前年度比89.8%)の実施に留まった。一方で、他の医療機関における新型コロナウイルス感染症のクラスター発生に伴い、受診不可となった受診者を積極的に受け入れたところ、乳がん検診が77人の増(前年度比106.4%)、子宮がん検診17人の増(前年度比101.7%)、特定健診31人の増(前年度比102.5%)となった。

人間ドックは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、一部自治体が人間ドック受診を取り止めたことや個人の申し込みの減少等で、117人の減(前年度比96.6%)となった。一方、予約時に前年度に受診しているオプション検査等を中心に、年齢や性別等に応じた検査項目の追加を積極的に勧奨したところ、頭部CT検査が28人の増(前年度比107.2%)、胸部CTは14人の増(前年度比106.6%)となった。

二次精検事業は、検診実施企業等への外来診療(二次検査・精密検査)の勧奨を行ったところ、乳腺外来精検が19人の増(前年度比112.0%)、子宮がん精検が15人の増(前年度比142.9%)となった。

予防接種事業は、インフルエンザ予防接種が276人の増(前年度比121.5%)となったものの、一部事業所におけるB型肝炎ワクチン接種対象者数減少の影響等により、全体では332人の減(前年度比85.9%)となった。

なお、令和2年9月より導入したクレジットカード決済の利用状況は、受診者総数6,945人のうち347人(5.0%)が利用した。特に、CT検査での利用状況は、受診者336人のうち46人(13.7%)であった。

以上、総合健診センター事業全体では、前年度決算額268,697千円に対し、260,512千円(前年度比96.9%)となった。

## 2. 総合健診センター事業の現状(実施人数)

単位:人

事業等の種別	令和2年度 (実績)	令和元年度 (実績)	増減数	前年度比 (%)
健康診断	5,715	5,901	△186	96.8
二次精検	645	576	69	112.0
人間ドック	3,328	3,477	△149	95.7
予防接種等	2,020	2,354	△334	85.8
計	11,708	12,308	△600	95.1

## 2. 総合健診センター事業の現状(収入)

単位:千円

事業等の種別	令和2年度 (実績)	令和元年度 (実績)	増減額	前年度比 (%)
健康診断	93,964	97,620	△3,656	96.3
二次精検	6,833	5,219	1,614	130.9
人間ドック	150,611	155,188	△4,577	97.0
予防接種等	9,104	10,670	△1,566	85.3
計	260,512	268,697	△8,185	96.9

## 3. 理化学分析事業

新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、検査の実施が困難となった地区があったこと、水質検査における大口顧客を受託できなかったこと、顧客の業績悪化による閉業又は事業縮小、学校給食提供数の減少の影響等により、件数は1,765件減(前年度比93.5%)、27,346千円の減収となった。

内訳をみると、水質検査は283件減(前年度比96.9%)、4,045千円減収、大気測定は177件減(前年度比78.4%)、2,193千円減収、食品検査は492件減(前年度比94.2%)、2,974千円減収、環境衛生は678件減(前年度比87.0%)、13,925千円減収、環境調査は200件減(前年度比94.7%)、2,589千円減収、作業環境測定は5件増(前年度比102.5%)、1,620千円減収となった。

以上、理化学分析事業全体では、前年度決算額282,488千円に対し、255,142千円(前年度比90.3%)となった。

### 3. 理化学分析事業の現状(実施件数)

単位:件

年度		令和2年度 (実績)	令和元年度 (実績)	増減数	前年度比 (%)
検査項目					
水質検査		8,797	9,080	△283	96.9
大気測定		425	542	△117	78.4
食品検査		8,025	8,517	△492	94.2
環境衛生	簡易専用水道施設検査	1,385	1,497	△112	92.5
	その他の検査	3,175	3,741	△566	84.9
環境調査(放射能測定等)		3,566	3,766	△200	94.7
作業環境測定		207	202	5	102.5
計		25,580	27,345	△1,765	93.5

### 3. 理化学分析事業の現状(収入)

単位:千円

年度		令和2年度 (実績)	令和元年度 (実績)	増減額	前年度比 (%)
検査項目					
水質検査		59,383	63,428	△4,045	93.6
大気測定		15,368	17,561	△2,193	87.5
食品検査		41,270	44,244	△2,974	93.3
環境衛生(簡易専用水道施設検査等)		80,680	94,605	△13,925	85.3
環境調査(放射能測定等)		27,146	29,735	△2,589	91.3
作業環境測定		31,295	32,915	△1,620	95.1
計		255,142	282,488	△27,346	90.3

### 4. 普及啓発事業

公衆衛生に関する知識の普及啓発、相談及び調査研究を行うべく、各種イベント等を計画していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により主催事業のみならず、関連事業でも中止や延期が相次ぎ、参集を伴う事業は見送らざるを得ない状況となった。

限られた条件の中、結核予防団体の事業支援などのための複十字シール運動への協力、日本対がん協会のがん撲滅運動のスローガン応募、関連啓発用冊子の配布やポスターの掲示により可能な範囲で啓発に努めた。

## 5. がん基金事業

がん基金の運用益等を活用し、がん征圧月間期間中の新聞広報にて、がん予防と生活習慣見直しの普及啓発活動を行った。特に新型コロナウイルス感染症の影響で健康診断の受診控えが問題となっていたことから、未受診による健康被害のリスクが高まることなどを訴えた。

## 6. 建物等の継続管理事業

公共事業の施行に伴う旧第一診療所の解体事業は令和2年8月に解体工事委託契約を締結し、同9月から解体工事をスタートさせ、令和3年2月上旬に解体は完了し整地作業が終了したことから、道路拡張部分について令和3年3月2日に福島市への引き渡しは完了した。

また、本館及び県南地区センターの耐震診断並びに長寿命化計画の策定は、厳しい財政状況を踏まえ実施を見合わせることにし、新型コロナウイルス感染症の収束や今後の財政状況等を考慮して進めていくこととした。

## 7. 令和2年度 保健衛生褒賞基金事業

### 1. 岩永賞

該当者なし。

### 2. 楠賞

該当者なし。



## 8. 実績内訳

令和2年度の主な実績は以下のとおり。

### ① 健（検）診・検査事業

	令和2年度実績 (人/件)	令和元年度実績 (人/件)	増 減
(1) 結核検診			
① 学校保健	22,434 人	23,782 人	△1,348
② 地域検診	59,054 人	80,717 人	△21,663
③ 労働衛生			
直接撮影・デジタル	19,675 人	19,484 人	△191
④ 精密検診			
精密検診	0 人	1 人	△1
(2) 胃がん検診			
① 地域検診	23,738 人	36,958 人	△13,220
② 労働衛生(協会けんぽ含む)	24,606 人	24,519 人	87
(3) 子宮がん検診			
① 子宮がん車輻検診			
ア 地域検診	13,849 人	16,308 人	△2,459
イ 労働衛生	2,970 人	3,383 人	△413
② 子宮がん施設検診			
ア 地域検診	41,593 人	44,794 人	△3,201
イ 労働衛生	1,858 人	1,395 人	463
③ 子宮体がん施設検診	38 人	92 人	△54
④ 子宮がん施設精密検診			
ア 組織診検査	640 人	567 人	73
イ 細胞診検査	1,424 人	1,774 人	△350
(4) 肺がん検診			
① 地域検診			
ア 肺がん検診(喀痰)	4,906 人	5,566 人	△660
イ 肺がん検診(肺野部)(協会けんぽ除く)	78,976 人	109,862 人	△30,886
② 労働衛生			
ア 肺がん検診(喀痰)	1,299 人	1,560 人	△261
イ 肺がん検診(肺野部)	53,724 人	47,489 人	6,235

	令和2年度実績 (人/件)	令和元年度実績 (人/件)	増 減
(5) 乳がん検診			
① 地域検診(いわき市除く)	15,735 人	17,613 人	△1,878
② 労働衛生	2,972 人	3,076 人	△104
(6) 大腸がん検診			
① 地域検診	63,622 人	78,587 人	△14,965
② 労働衛生(協会けんぽ含む)	33,275 人	31,235 人	2,040
(7) 特定健康診査			
① 地域検診	54,223 人	76,651 人	△22,428
② 特定保健指導	2,264 人	1,614 人	549
(8) 骨粗鬆症検診			
① 地域検診	9,879 人	12,056 人	△2,177
② 労働衛生	675 人	700 人	△25
(9) 臨床検査			
① 学校保健			
ア 寄生虫検査	1,939 件	2,488 件	△549
イ 尿検査	129,248 件	130,590 件	△1,342
ウ 心電図検査	67,281 件	69,338 件	△2,057
エ 血液検査	30,673 件	29,764 件	909
オ その他の検査	17,689 件	18,446 件	△757
② 地域検診			
ア 血液検査	134,012 件	183,708 件	△49,696
PSA 検査	20,452 件	27,471 件	△7,019
イ 健康診査	22,477 件	31,821 件	△9,344
ウ 県民健康調査(健康診査)	24,720 件	30,760 件	△6,040
エ その他の検査	101,881 件	134,465 件	△32,584
③ 労働衛生			
ア 心電図検査	68,184 件	63,074 件	5,110
イ 眼底検査	38,895 件	37,322 件	1,573
ウ 尿検査	15,514 件	17,708 件	△2,194
エ 血液検査	232,199 件	213,770 件	18,429
オ 健康診断	77,230 件	74,149 件	3,081
カ 血圧測定	12,997 件	11,713 件	1,284
キ 聴力検査	58,905 件	54,906 件	3,999

	令和2年度実績 (人/件)	令和元年度実績 (人/件)	増 減
ク その他の検査	140,100 件	131,352 件	8,748
④ 特殊検診			
ア 有機溶剤健診	6,937 件	7,025 件	△88
イ 鉛健康診断	367 件	441 件	△74
ウ じん肺健康診断	462 件	440 件	22
エ 騒音健康診断	390 件	792 件	△402
オ VDT 健康診断	4,182 件	3,916 件	266
カ その他の検査	6,228 件	6,362 件	△134
⑤ 保菌検査	12,953 件	16,645 件	△3,692
⑥ 医療機関からの受託検査			
ア 一般臨床検査	397 件	1,031 件	△634
イ 病理組織検査	1,504 件	2,131 件	△627
ウ 細胞診検査	26,198 件	25,556 件	642
⑦ 母子保健			
ア 先天性代謝異常検査	13,053 件	14,112 件	△1,059
(10) 口腔健康診査			
① 地域検診	495 件	0 件	495
② 労働衛生	0 件	11 件	△11
(11) 健康づくり事業			
① 健康づくり事業	55 件	73 件	△18
② 総合健康管理受託事業	11 件	16 件	△5

## ② 総合健診センター事業

	令和2年度実績 (人)	令和元年度実績 (人)	増 減
(1) 健康診断	5,715	5,901	△186
(2) 二次精検	645	576	69
(3) 人間ドック	3,328	3,477	△149
(4) 予防接種等	2,020	2,354	△334

### ③ 理化学分析事業

		令和2年度実績 (件)	令和元年度実績 (件)	増 減
(1) 水質検査		8,797	9,080	△283
(2) 大気測定		425	542	△117
(3) 食品検査		8,025	8,517	△492
(4) 環境衛生	① 簡易専用水道施設検査	1,385	1,497	△95
	② その他の検査	3,175	3,741	△542
(5) 環境調査(放射能測定等)		3,566	3,766	△200
(6) 作業環境測定		207	202	5

### ④ 複十字シール募金

運動期間 令和2年8月1日～令和2年12月31日

募金実績額 2,002,622円 (募金目標額 3,000,000円)